

2025 年 11 月 7 日
株式会社 Finatext ホールディングス

文化勲章受章者で東京大学名誉教授・理化学研究所荣誉研究員の甘利俊一氏が、 「近未来金融システム創造プログラム」のシニアアドバイザーに就任

次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現する株式会社 Finatext ホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 CEO:林 良太、以下「Finatext ホールディングス」)は、近未来の金融システムを創る中核人材の育成を目的として 2017 年から開講している「近未来金融システム創造プログラム」のシニアアドバイザーに、甘利俊一氏(文化勲章受章、東京大学名誉教授、理化学研究所荣誉研究員)が就任したことをお知らせします。

甘利氏は日本を代表する数理脳科学者・情報科学者であり、特に氏が確立した情報幾何学は、AI(人工知能)における深層学習、ビッグデータ解析、統計、そして現代の経済学・金融工学に至るまでデータサイエンスの基盤として幅広く活用されています。また、1960 年代には人工知能の基本原則となる機械学習のアルゴリズムを定式化し、世界を代表する AI 研究のパイオニアとして知られています。その長年の功績は国内外で高く評価されており、2019 年に文化勲章を受章、2025 年に京都賞(先端技術部門)を受賞されました。

「近未来金融システム創造プログラム」においてはプログラム発足時から機械学習や AI に関する講義を担当いただいていたが、本年度をもって講義を引退し、シニアアドバイザーとしてプログラム全体の学術的監修に携わっていただくこととなりました。

<講義の様子>



■「近未来金融システム創造プログラム」統括責任者 赤井厚雄(株式会社ナウキャスト 取締役会長)からのコメント

甘利俊一先生には、2017 年の当プログラム発足時から 9 年間連続して講師をお務めいただいています。当プログラムでは、近年の AI をはじめとする技術の進化が社会変容に与える影響を深掘りし、近未来の金融システムを構想する力に繋げようと取り組んでいます。今回、世界をリードする AI 研究のパイオニアである甘利先生に、シニアアドバイザーという立場でプログラムの全体にわたってご指導いただく機会を得たことは、私にとり大きな喜びで、受講生にとってもまた修了生にとっても誇らしいことと思います。

■「近未来金融システム創造プログラム」について

AI やビッグデータ、ブロックチェーンなど数々の技術革新を取り込んで、金融は新たな転換期を迎えようとしています。しかし、これまでの日本には、金融を高度なレベルで学び社会の仕組みをデザインするといった具体的アクションに結びつけるような教育の場は存在していません。

Finatext ホールディングスは、2017 年から近未来の金融システムを創る中核人材の育成を目的として「近未来金融システム創造プログラム」(プログラム統括責任者:赤井厚雄)を開講しています。

本プログラムでは、遠い将来でなく近い未来の金融市場・金融システムを支えるであろう最先端の科学的知見や応用技術、それらを使いこなして暮らしに役立てるための規制や取り組み、そこに横たわる様々な課題を取り上げます。様々な分野を代表する研究者や実務家、政策決定者等の講師陣から最先端のテクノロジー・金融システムを学ぶ本プログラムは、これまで東大生、他大学・大学院生、社会人を含む約 500 人以上の方に受講いただいております。

<https://todaifinanceinnovation.com/>

以 上

【Finatext グループについて】

Finatext グループは、「金融を“サービス”として再発明する」をミッションに掲げ、次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現するフィンテック企業グループです。金融サービスのあるべき姿をユーザー視点から見直し、パートナー事業者と共に新しい金融サービスを開発する「株式会社 Finatext」、オルタナティブデータ解析サービスの「株式会社ナウキャスト」、証券ビジネスプラットフォームを提供する「株式会社スマートプラス」、次世代型デジタル保険の「スマートプラス少額短期保険株式会社」といった事業会社を擁し、「金融がもっと暮らしに寄り添う世の中」の実現を目指しています。



会社名	:	株式会社 Finatext ホールディングス
代表者	:	代表取締役社長 CEO 林 良太
証券コード	:	東証グロース市場 4419
設立	:	2013 年 12 月
所在地	:	東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号 住友不動産九段ビル 9 階
公式サイト	:	https://finatext.com/